

令和4年東通村消防団出初式



観閲する畑中村長

1月7日、東通村体育館駐車場を会場に、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、令和4年東通村消防団出初式が行われました。

東通村消防団226名は、坂本義彦団長の指揮の下、特別参加の下北試験場消防隊とともに畑中稔朗村長の観閲を受け、防火・防災への気持ちを新たにしました。

式では、参集した団員の現況報告・通常点検が行われた後、畑中村長ほか関係者が砂子又八幡宮へ拝礼し、今年一年の無火災・無災害を祈願しました。その後、坂本団長を先頭に3大隊に分かれた団員が堂々で行進。続いて纏組により、力強く華麗な纏振りが披露されました。

坂本団長からは「地域住民の強い信頼に応えるため、なお一層の訓練に励み消防人としての自覚と誇りを忘れることなく、日常活動に精励したい」と決意が述べられ、畑中村長は「自分の大切な人を守るために、自らを捧げ、日頃の活動を行っており、その活動に対し、誰もが皆さんに感謝しております。引き続き、日々の訓練と消防活動に精励されるよう強く願います」と訓示しました。



現況報告をする坂本団長



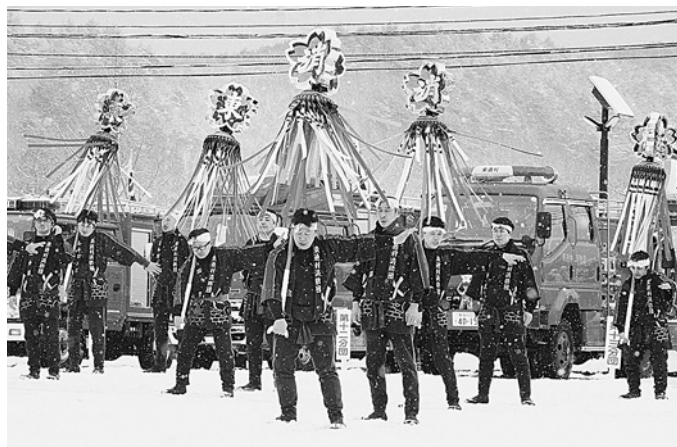
坂本団長の指揮のもと一糸乱れぬ分列行進



砂子又八幡宮にて無火災・無災害を祈願



整然と並ぶ団員



力強く華麗な纏振り